

第 5 章

「ウォーキングマップ」に記述された歩行空間紹介文からみた歩行空間

5－1 緒言

－2 考察の視点と方法

－3 「ウォーキングマップ」に記述された紹介文からみた歩行空間

－4 まとめ

5-1 緒言

前章では、「ウォーキングマップ」に掲載されたコースについて、「歩行感覚」から分析をおこなった。分析は、コース内における歩行空間を構成する要素の変化に注目しておこない、そのタイプを「フレーズ」「ハーモニー」「メロディー」の視点から分析した。

本章では、これらの結果を受けて、それぞれの歩行空間について「ウォーキングマップ」中で記述された文章とを照合し、歩行空間の特徴を明らかにしていく。

5-2 考察の視点と方法

前章では、「ウォーキングマップ」に掲載された歩行空間について、「歩行感覚」から分析をおこなってきた。その結果、「フレーズ」については、8種類の「ハーモニー」を、コース全体に関しては「ハーモニー」の組み合わせによる7種類の「メロディー」を明らかにした。

それでは、実際にその「ハーモニー」の歩行空間を歩いた場合、「メロディー」のコースを歩いた場合、どのような印象を受けるのか。この点を明らかにするために、前章でおこなった分析の結果に、本章では「ウォーキングマップ」に記述された歩行空間の紹介文から考察をおこなう。

前章ではコースを「フレーズ」に分節化し分析をおこなったわけであるが、この「フレーズ」の典型的なタイプである「ハーモニー」について、「ウォーキングマップ」に記述された歩行空間の紹介する文章から考察をおこなう。

考察をおこなうために、「ウォーキングマップ」にどのような内容がコースの紹介文として記述されているかを表5-1をもって説明する。

「キャッチフレーズ」には、掲載されているコースについてのキャッチフレーズが表現されている。この部分はこのコースを表す代表的な印象などが述べられている部分は多く、コース全体としての記述といえる。

「紹介文」には、歩行空間全体の概略が記述されている。この部分も「キャッチ」と同様、コース全体としての特徴ある区間や印象が述べられており、コース全体に対する記述といえる。

「見どころガイド」には、コースを2～3区間にくぎり、各区間の道順、みどころなどが述べられている。各区間はそのまま「フレーズ」の「ハーモニー」に対応することができるため、この部分の記述は、対応する「ハーモニー」に対する記述として扱う。また、「キャッチフレーズ」や「紹介文」においても、明らかにその区間が特定される文章については、「ハーモニー」の考察に使用する。

表 5-1-1 記述分析表 21 北野異人館

コース名	21 北野異人館	距離 (km)	4.2
		フレーズ数	9
キャッチフレーズ	港町神戸を眺めながら 北野の街で異人館を巡る		
紹介文	安政5（1858）年に調印された日米修好通商条約に基づいて開港された神戸港。明治期に入ると多くの外国人が神戸の街に移住し、故郷を懐かしんで海に見える高台に住居を建てた。これが北野の異人館街の始まりだ。現在も、華やかな外観の洋館が建ち並び、70数カ国の人々が暮らす港町神戸には、エキゾチックな雰囲気が漂う。		
見どころガイド	阪急三宮駅～香りの家オランダ館		
	阪急三宮駅を出たら、ユニークなオブジェが点在する不動坂のイチョウ並木道を山の手に向かって、歩こう。北野通りを通して細い路地に入ると、右手にプラトン美装美術館（イタリア館）が見えてくる。看板を目印に左に曲がって二つ目の路地の奥に、うろこの家・うろこ美術館がある。香りの家オランダ館へは、そこからすぐの道を左折。		
	香りの家オランダ館～英国館		
	香りの家オランダ館から道なりに進むと坂は下りになり、北野観光案内所が見えてくる。三角屋根の風見鶏がトレードマークの風見鶏の館から、萌葱の館を通してさらに歩を進める。北野通りを左方向へ進むとイギリスの生活様式を再現した英国館だ。		
	英国館～JR元町駅		
	英国館を折り返してメシアの館へ。ここからは、それぞれに個性が光るストリートウォークを楽しもう。まずは、美しい花が植えられたフラワーポットが目を引く北野坂。続いて真珠の輸入業者が多いことから名が付いたパールストリートを抜けて、ハンター坂へ。レトロな建物が並ぶ通りを歩いたら、飲食店や商店が建ち並ぶ鯉川筋を通してＪＲ元町駅へ。		

5-3 ウォーキングマップに記述された紹介文からみた歩行空間

本節では、前節で設定した考察の方法に基づき、「ハーモニー」について、「ウォーキングマップ」に記述された文章から考察をおこなう。

「ハーモニー」についての考察は、まず、「ウォーキングマップ」に記述されている「紹介文」「見どころガイド」から、「ハーモニー」に対応する部分の記述をごとに文章を抜き出した。次に、各「ハーモニー」について、それぞれ文章から読みとれる特徴などから考察していく。

考察する「ハーモニー」のタイプは次の 7 タイプである。なお、特殊タイプについては、文章の記述が見られなかったため、考察はおこなわない。

- 直線平坦タイプ
- 回遊タイプ
- 直線平坦（テクスチャー）タイプ
- アクロバティックタイプ
- お参りタイプ
- 癒しタイプ
- 心臓破りタイプ

(1) 「直線平坦」タイプ

表 5-2-1 「直線平坦」タイプの「ハーモニー」に対する記述

ハーモニータイプ	対応するフレーズに関する記述	コース名
直線平坦タイプ	しばらく県道を歩き	山城町
	扇町通りを進んで、ビジネスホテルが並ぶ	キタ御利益巡り
	寺院の多く集まる東寺町通りを	キタ御利益巡り
	骨とう品店やギャラリーが軒を並べる老松通り	キタ御利益巡り
	高層ビルの間を縫うように進んで	キタ御利益巡り
	駅前からは道なりにまっすぐ進み	石切劔箭神社
	季節の花のなかに彫刻などのオブジェが点在するフラワーロードを歩こう	旧居留地・南京町
	レトロな雰囲気の街並みをウォッチングしながら散策する	旧居留地・南京町
	デートスポットとしても人気が高く、休日ともなれば大勢の人で賑わう	ハーバーランド
	整然とした街並みのなか、レトロなビルが点在している	ハーバーランド
	公園のようにのんびりとした雰囲気が漂う	ハーバーランド
	大きな屋敷が並ぶ黒松並木の離宮道	須磨
	おしゃれな街灯が並ぶ道	丹波篠山

「直線平坦」タイプに対する文章記述は、「**県道**」や「**老松通り**」など往来の激しい通りの歩道を歩行するという記述が見られた。また、この区間を歩いているの例えば「快適に」「ゆったりとした」といった、「歩行感覚」からみた記述は「**のんびり雰囲気が漂う**」の一例のみであった。「直線平坦」タイプの「ハーモニー」は、都市の中心部や大通りを歩行する区間が多いため、「歩行感覚」に対する印象に対し、街などの持つ雰囲気の影響のほうが大きいことが考えられる。よって、「ハーモニー」のタイプを大通りなど都市の中心部をいく道の歩道を行く平坦な道であるという特徴から「直線平坦タイプ」としたが、この「ハーモニー」名は、文章記述からみてもふさわしかったといえる。

(2) 「回遊」タイプ

表 5-2-2 「回遊」タイプの「ハーモニー」に対する記述

ハーモニータイプ	対応するフレーズに関する記述	コース名
回遊タイプ	街なかの気軽な 散策 スポット	京都御苑
	神社仏閣めぐりに、古い町並みならではのおもしろさをプラスした 散策 を楽しもう	西陣
	快適 に休憩をとりながら歩こう	鴨川
	あちこちに社寺が点在する閑静な住宅街	稻荷山山麓
	古来より交通の要衝として栄えてきた	石清水八幡宮
	市街地を 縫う ように歩く	石清水八幡宮
	旧街道	石清水八幡宮
	素朴な町の日常を肌で感じることができる	鶴橋
	悠久のロマンを感じる	仁徳陵
	遊歩道 が続いているので 快適 に歩け	仁徳陵
	都会の中心とは思えないほど緑に恵まれている	中之島公園
	風格あるたたずまいから、当時に思いを馳せてみるのも一興だ	中之島公園
	緑豊かな園内では、さわやかな川風が吹き渡り、 リラックスした気分 になれる	中之島公園
	レトロな雰囲気漂うレンガや石の壁に青銅屋根の建物が立ち並んでいる	中之島公園
	昔ながらの風情ある町並み	奈良街道
	旧街道 の情緒を楽しみながら	奈良街道
	紀州熊野神社へ参詣者が列をなし” 蟻の熊野詣 ”といわれた 熊野街道	熊野街道
	閑静な住宅街を進み	熊野街道
	細かい道 に入る。住宅街を道なりに進むとやがて大黒寺にたどり着く	グレーブロード
	マンション沿いに続く 遊歩道 を歩こう	ポートアイランド
	街路樹が植えられた 快適な道 になっている	ポートアイランド
	しゃれたデザインの洋館が立ち並ぶ静かな屋敷街の広がる	御影
	落ち着いた雰囲気の町	御影
	白砂と青松が美しい須磨海浜公園で水辺の 散策	須磨
	白砂の続く浜沿いに整備された 遊歩道 を歩く	須磨
	ユニークな魚のオブジェや花が配されていて楽しいので ゆっくり歩きたい	須磨
	道のアップダウンが少ないので 、歴史を偲びながら快適なウォーキングが楽しめる	丹波篠山

「回遊」タイプは、「街なかの気軽な**散策**スポット」「素朴な街の日常を肌で感じることができる」とあるように、住宅地や商店街などの空間としての記述がみられるように、日常の家の周りなど気軽な散策路であると考えられる。

また、「旧街道の情緒を楽しみながら」「古くから交通の**要衝**」とあるように、昔は街道とし

て往来が盛んであったことを示す記述が見られる。

「遊歩道が続いているので快適に歩け」「街路樹が植えられた快適な道になっている」「白砂の続く浜沿いに整備された遊歩道を歩く」などとあるように、整備された遊歩道という記述も見られる。段差などの変化が少ないという特徴を持つこの「回遊」タイプは、「ウォーキング」という視点からは歩きやすい歩行空間であるといえる。

「ハーモニー」を「回遊」タイプとネーミングしたが、文章記述からも、身近な「回遊」空間としての評価と受け取ることができる。

(3) 「直線平坦（テクスチャー）」タイプ

表 5-2-3 「直線平坦（テクスチャー）」タイプの「ハーモニー」に対する記述

ハーモニータイプ	対応するフレーズに関する記述	コース名
直線平坦 テクスチャー タイプ	学生の街の雰囲気を楽しみながら	京都大学周辺
	賑やかな駅前通り	嵯峨野
	そのまま国道172号を直進	天保山
	この賑やかな一帯が天保山ハーバービレッジ	天保山
	快適に整備された西三荘ゆとり道	鶴見緑地
	リゾート感覚のウォーキングが楽しめる	鶴見緑地
	ユニークなオブジェが点在する不動坂	北野異人館
	それぞれに個性が光るストリートウォークを楽しもう	北野異人館
	煉瓦敷きの小道に街路樹が繁るおしゃれな街並みが続く	ポートアイランド
	大きな倉庫が並ぶ港沿いの大通りを歩いて	ポートアイランド
	諏訪山公園から車道に出ると、山野静けさから一変して車の騒音に	市章山・ビーナスブリッジ

「直線平坦（テクスチャー）」タイプは、その名前が示すとおり、「直線平坦」コースと類似している。相違点は、テクスチャー変化で、具体的には、舗装がデザインされているかどうかという点である。

文章記述からは、「直線平坦」コースと同じように、「そのまま国道172号を直進」「大きな倉庫が並ぶ港沿いの大通りを歩いて」というように、大通りの歩道に行くという記述が見られる。

「直線平坦」コースとの相違点としては、「賑やかな駅前通り」「この賑やかな一帯が天保山ハーバービレッジ」という、賑やかな繁華街や新しく整備された空間という記述が挙げられる。また、「ユニークなオブジェが点在する不動坂」「それぞれに個性が光るストリートウォークを楽しもう」という記述にみられるようにデザイン性に対するものも見られる。

(4) 「アクロバティック」タイプ

表 5-2-4 「アクロバティック」タイプの「ハーモニー」に対する記述

ハーモニータイプ	対応するフレーズに関する記述	コース名
アクロバティックタイプ	静かで厳格な雰囲気が続く山のなかの参道に沿って歩く	鞍馬・貴船
	足場が悪いところもあるので、足元に注意しながら進もう	鞍馬・貴船
	森林浴気分で散策を楽しみたい	京都大学周辺
	爽快な気分で散策ができる	京都大学周辺
	つづら折りの石段を上り	石清水八幡宮
	2月～3月が見ごろの枚岡梅林を通り抜ける	石切劔箭神社
	整備されたハイキングコース	石切劔線神社
	急な坂道を上れば	石切劔線神社
	少しきついものの澄んだ空気のなかで快適なウォーキングが楽しめる	市章山・ビーナスブリッジ

「アクロバティック」タイプには、「静かで厳格な雰囲気が続く山のなかの参道に沿って歩く」「森林浴気分で散策を楽しみたい」などの記述が見られ、森林浴コースという紹介のされ方をしている。「ハーモニー」の数と 19 と上述の 3 タイプよりも少ないにも関わらず、記述の比率は多い結果となった。これは、「ウォーキングマップ」というガイドブックの特性、また、「歩行感覚」からみて印象の強い空間が多いことが考えられる。「少しきついものの澄んだ空気のなかで快適なウォーキングが楽しめる」「足場が悪いところもあるので、足元に注意しながら進もう」とあるように、注意を促す記述もみられることから、コースのなかでも特徴的な区間であるといってもいい。

(5) 「お参り」タイプ

表 5-2-5 「お参り」タイプの「ハーモニー」に対する記述

ハーモニータイプ	対応するフレーズに関する記述	コース名
お参りタイプ	いつも大勢の参拝者で賑わう伏見稲荷大社の参道	稲荷山山麓

「お参り」タイプは「いつも大勢の参拝者で賑わう伏見稲荷大社の参道」の一つだけであったが、場所名としては、神社、寺の名前が記述されていた。また、「歩道橋を渡り」という記述もみられた。

(6) 「癒し」タイプ

表 5-2-6 「癒し」タイプの「ハーモニー」に対する記述

ハーモニータイプ	対応するフレーズに関する記述	コース名
癒しタイプ	鞍馬川から貴船川の清流沿いをたどる	鴨川
	しっとりとした京の町並みを堪能しながら	清水寺周辺
	別世界にタイムトリップしたような気分	清水寺周辺
	静かな住宅街	京都大学周辺
	数々の歴史を語る社寺が点在し、京都らしい風情が漂う	嵯峨野
	竹林に囲まれた静かな小道が続き、京の趣が感じられる	嵯峨野
	古代の息吹を感じながら歩く	山城町
	田園のみえるのどかな道	嵯峨野
	静かな通り	山城町
	田畑に囲まれた道	山城町
	緩やかな上り坂	山城町
	静かなたたずまいの集落	山城町
	昔ながらの風景を楽しみながら歩く	石切劔線神社
	のんびりとした山道を下って行く	グレーブロード
	しっとりとした趣き	有馬温泉
	温泉街の雰囲気を楽しむながら歩こう	有馬温泉
	静寂に包まれた山道へと入っていく	有馬温泉

「癒し」タイプは、「しっとりとした京の町並みを堪能しながら」「数々の歴史を語る社寺が点在し、京都らしい風情が漂う」「温泉街の雰囲気を味わいながら歩こう」という記述にみられるように、いわゆる「癒される」表現がされている。「風情」「雰囲気」といった周辺環境の雰囲気が「癒される」という印象をあたえていると思われる。また、「のんびりとした山道を下って行く」「緩やかな上り坂」という記述にみられるようにゆるやかな垂直方向の変化も「癒される」道と同じタイプとなっていることから、これらの歩行空間の変化は、「癒し」の印象を与えることができると考えられる。

(7) 「心臓破り」タイプ

表 5-2-7 「心臓破り」タイプの「ハーモニー」に対する記述

ハーモニータイプ	対応するフレーズに関する記述	コース名
心臓破りタイプ	岩を削り取ったような山道をしばらく歩く	市章山・ピーナスブリッジ

「心臓破り」タイプは、数的にも 9 と少ないことから、記述は 1 例しかみることができなかった。「岩を削り取ったような山道をしばらく歩く」という記述がされており、歩行空間の激しい変化が想像できる。

5-4 まとめ

以上のように、「特殊」タイプを除き、「ハーモニー」に対する文章から考察をおこなったが、いずれも「ハーモニー」の特徴と対応する結果となった。

「ウォーキングマップ」に記述された文章は、周辺環境から受ける印象と、「歩行感覚」から感じた印象とみられる記述との 2 つに大別でき、その多くが周辺環境からのものであった。本研究では「歩行感覚」の視点から歩行空間の分析をおこない「フレーズ」をタイプ分けし、典型的な「ハーモニー」を抽出した。その結果、得られた「ハーモニー」は、「ウォーキングマップ」に記述された紹介文との考察から、周辺の雰囲気と印象は概ね一致していることがわかった。

本考察から得られた、「ハーモニー」について特徴的なことを以下に挙げる。

まず「直線平坦」タイプと「直線平坦（テクスチャー）」タイプは、前章の分析からはテクスチャーの変化の多少による相違点があるとしていたが、記述された文章から考察したところ、「直線平坦（テクスチャー）」タイプの方が、賑わいを見せている空間であるといえる。

また、全体の数ではその「ハーモニー」数はすくないものの、「アクロバティック」タイプの文章記述が多いという結果が得られた。

本考察の結果、視覚から受けた印象と「歩行感覚」からうけた印象とが相乗効果となって、歩行空間の印象となっているのではないかと考えられる。